

## 閉会の挨拶

Closing Address

増永 良文

青山学院大学社会情報学部の増永です。

札幌学院大学社会情報学部と私が研究代表者を務めております科学研究費補助金基盤研究(B)課題番号 22300036「学際的学問分野の BOK 策定を事例とした知の創成と検証支援システムの研究・開発」の共催で、「第2回知の創成と検証に関するシンポジウム—集合知としての社会情報学：そのアイデンティティ」を札幌学院大学社会連携センターを会場に開催することができ、「社会情報学とは何か」について充実したご発表を賜り、また真摯な討論を行うことができましたことを大変うれしく思っております。

社会情報学は、ウェブ社会と称してよい現代社会で発生する様々な問題を、従来の社会科学や情報科学を基盤に、その枠組みを越えて、多角的にとらえその本質を抉り出すとともに、その問題解決を図ろうとする学際的学問分野です。生命科学やサステナビリティ学など、新生学際学問分野がどんどん生まれてくる現代社会において、最も社会性を帯びているが故に、最も必要とされる学問であることに間違いはなく、従って、さまざまな活動を通して、今後ともその学問分野の確立にまい進していくことが大変重要であり、その意味で本シンポジウムの意義は大変深かったと感じます。

本シンポジウムを開催するにあたり、ご講演をいただいた諸先生、熱心に質疑応答に参加してくださった諸先生、そして本シンポジウムをご準備いただきました札幌学院大学社会情報学部長の森田彦先生、同学部の千葉正樹先生、そしてご関係の諸先生に心より御礼を申し上げて、閉会の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。